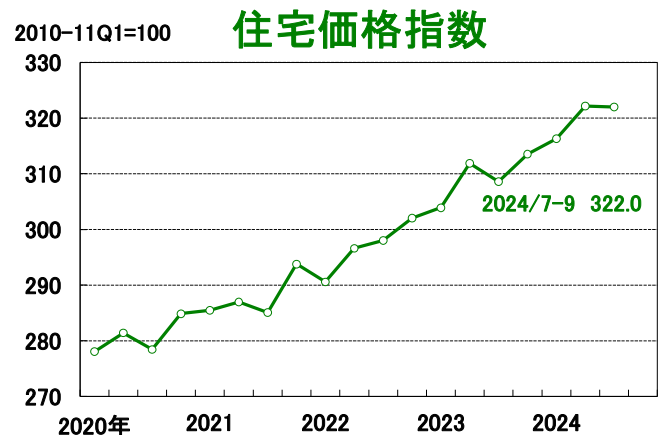
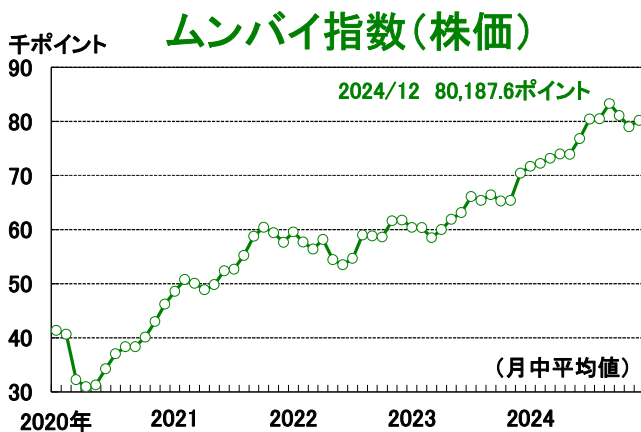
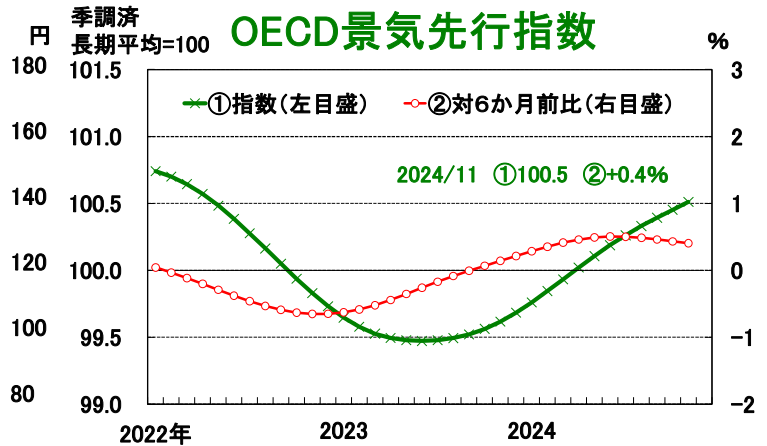
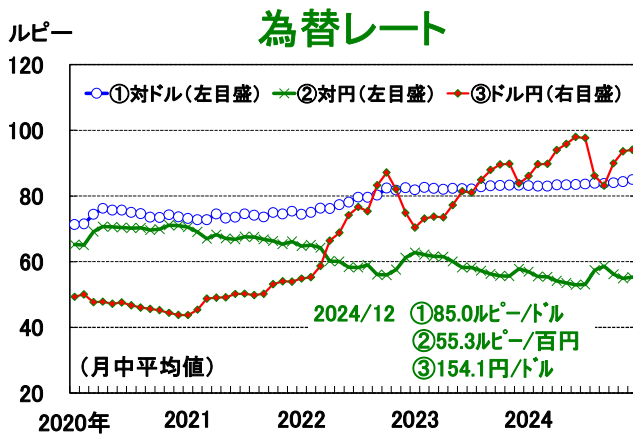
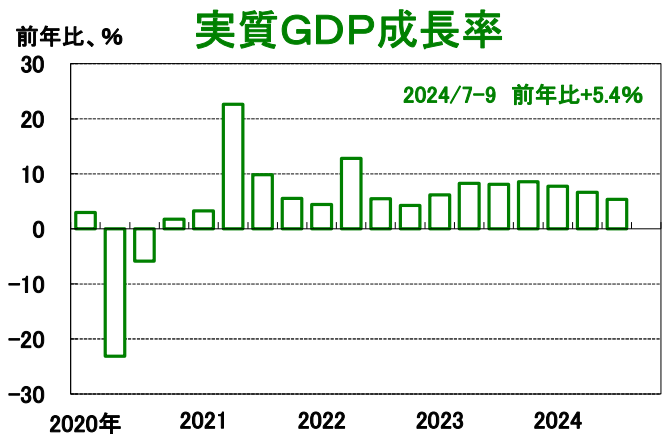
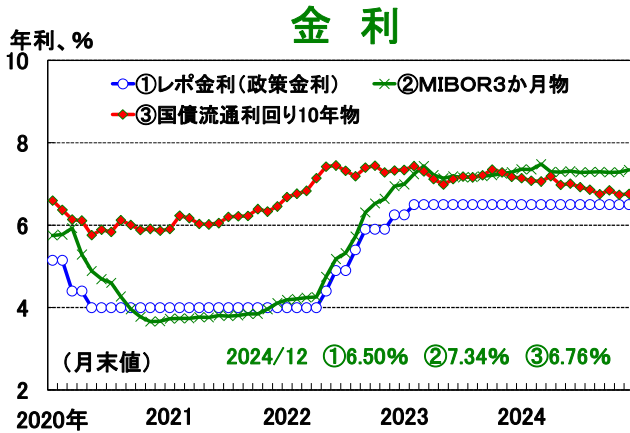
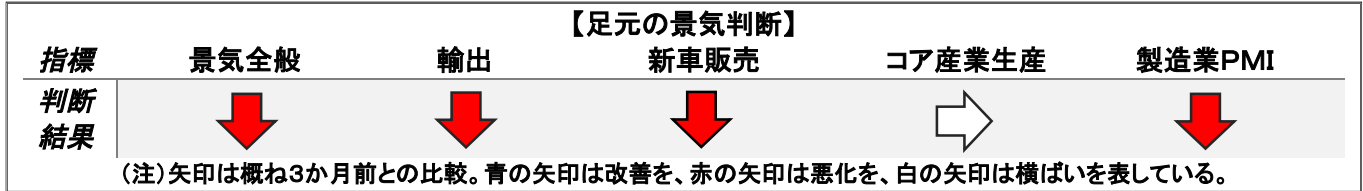


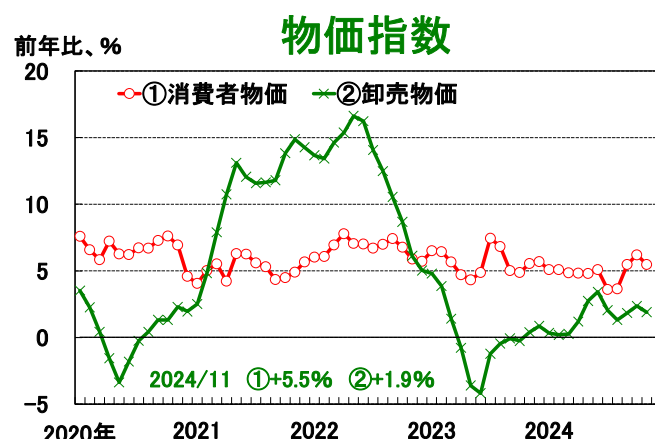
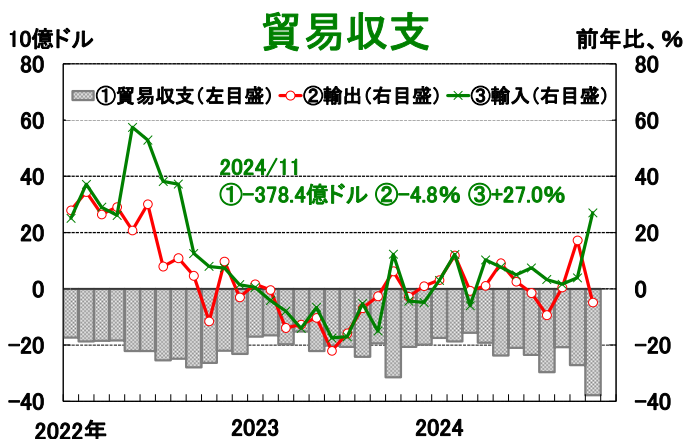
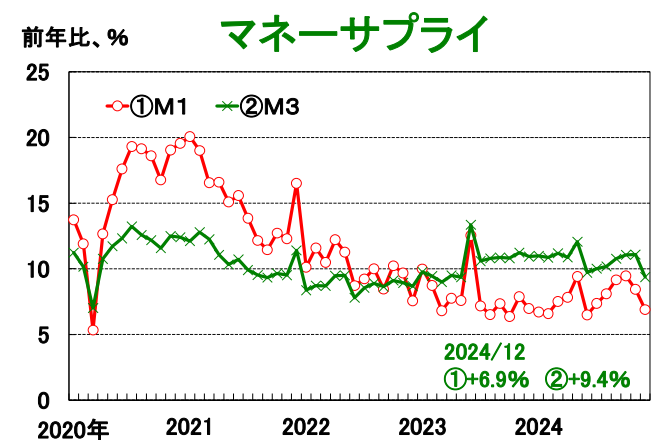
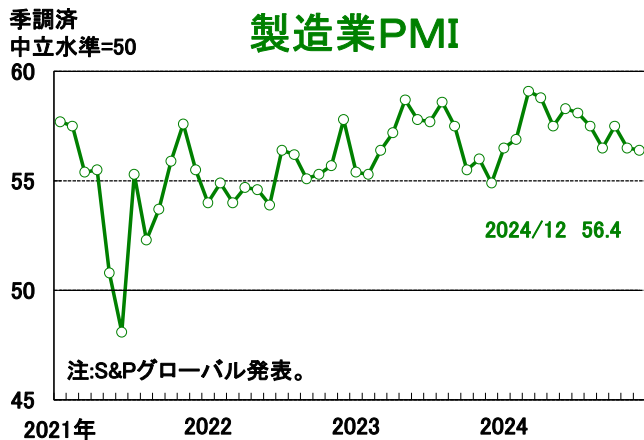
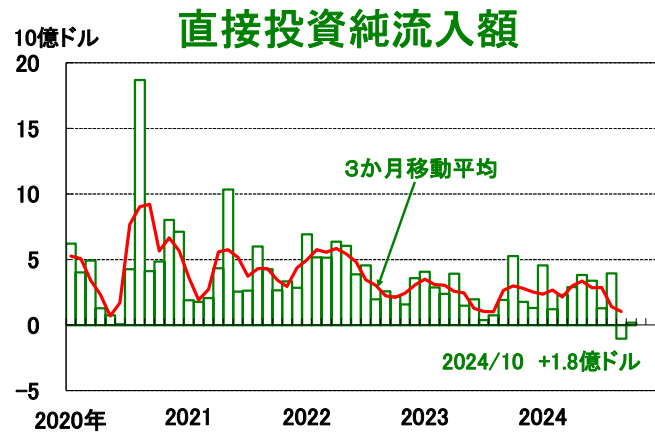
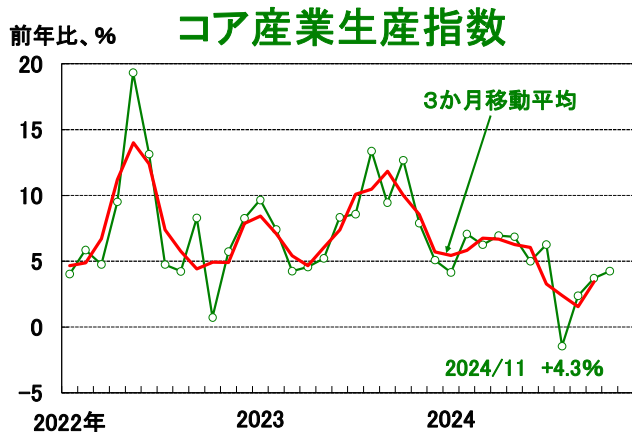
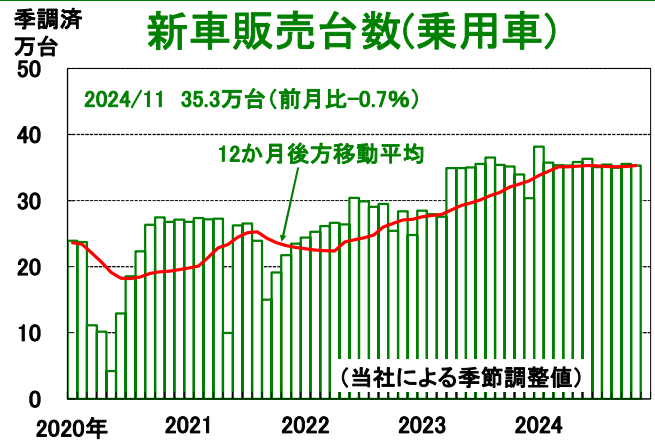
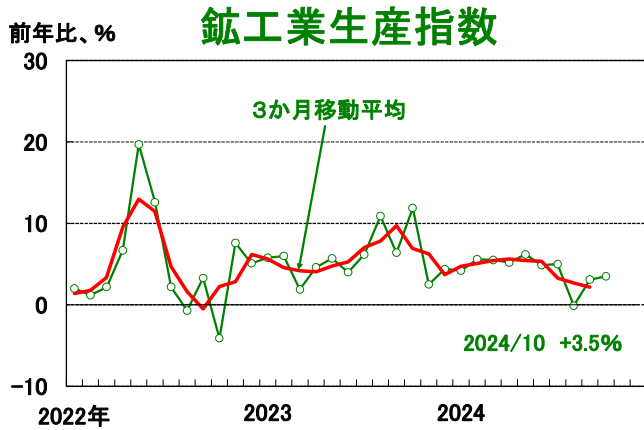
グラフで見るインド経済 2025 年1月号(No. 181)

インドの景気は回復の動きが鈍化している。まず、家計部門をみると、2024年11月の新車販売台数が前月比-0.7%と再び減少するなど、個人消費は足元で弱含んでいる。企業部門でも、同月のコア産業生産指数が前年比+4.3%と緩やかに回復したものの、同月の輸出は同-4.8%と前年割れとなった。輸出の内訳をみると、米国向けが前年水準を下回り、中国向けも2桁減が続いている。続く12月の製造業PMIは56.4と2か月連続で低下し、景況感は改善の動きが鈍くなっていることが示された。内訳をみると、「新規受注」などが低下した。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。